

# お天気解説

## アキラのズバツと

温暖化による影響シリーズ

「台風や大雨による災害」その2

### 大規模な高潮災害

～江戸川区には脅威～

令和5年10月13日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

この9月は、暑さが厳しかったですね。太平洋高気圧が強く、江戸川臨海では平均気温が26.7℃と8月の平年とほぼ同等の暑さとなり、9月の観測史上1位を記録しました。気象庁は、日本近海で記録的に高い海面水温が続き、9月は平年差が+1.6℃と特に大きく、天候への影響が懸念されることをHPで呼びかけています。

ところで、1917年(大正6)年、台風が東日本を直撃して満潮時の東京湾に大規模な高潮災害をもたらしました。江戸川区では、葛西周辺で深さ4mにも浸水しました。家屋や船舶などが多数流され、葛西では226名もの犠牲者が出てしまいました。区役所前バス停の近くに荒川の水位表示塔がありますが(写真)、「大正6年の最高潮位」とは、この時の記録なのです。現在では、葛西臨海公園全体が葛西を守る防潮堤の役割を担い、安全性が高まりました。

この台風のように、中心気圧の低い台風は高潮災害をもたらすことがあります。たとえば、1959(昭和34)年の伊勢湾台風は中心気圧929hPaで上陸し、高潮が地震津波のごとく深夜に伊勢湾沿岸を急襲しました。名古屋市・桑名市を中心に犠牲者が5000名を超えました。2005年、アメリカ・ルイジアナ州に中心気圧910hPaで上陸したハリケーン・カトリーナによる高潮で、「ゼロメートル地帯」であるニューオーリンズ(23区の約1.5倍の面積)の8



割が水没し、排水が完了するまで1か月以上を要したことは江戸川区民にとって他人事とは思えません。高潮は、台風の進行方向の右半円内で特に起こりやすくなります。台風情報を見るとき、中心気圧やコースに留意してください。

週末のお天気				2023年10月13日11時 気象庁 発表			
日付	今日	明日	明後日	今日	明日	明後日	明後日
	13日(金)	14日(土)	15日(日)				
東京地方	晴	晴時々曇	曇時々雨				
降水確率(%)	-/-/0/0	0/0/0/10	80				
信頼度	-	-	-				
東京気温(℃)	最高	24	24	20			
	最低	-	13	14	(18~22)		
							(13~16)

#### 東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(日曜日はあいにくの天気になってしまいそうです)

次回の「台風や大雨による災害」は、「線状降水帯が襲う豪雨」というタイトルで話題を提供します。